

平成28年熊本地震にかかると防衛省・自衛隊の対応

5月8日(日) 自衛隊及び在日米軍による演奏会



活動場所:「はくおう」船内



活動場所:熊本市南区役所(米陸軍との合同演奏)

平成28年5月10日

防 衛 省

平成28年熊本地震における部隊現況・実績(1/2)

28. 5. 10 0000
防 衛 省

<p>災害派遣要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月14日(22時40分) 熊本県知事から災害派遣要請 ○ 4月16日(02時36分) 大分県知事から災害派遣要請 → 4月28日(10時24分) 撤収要請 	<p>防衛省等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 統合任務部隊の編成(4月16日) → 編成解除(5月9日) ○ 即応予備自の招集(4月17日) → 招集の実施を終了(5月9日) ○ 省災害対策本部会議 #1(4月14日)～#23(5月9日) 	<p>活動の態勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人員:約1.3万人 ○ 航空機:75→28機 (内、ヘリ61→27機) ○ 艦艇:0隻
<p>現地ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ インフラの遮断による給水及び給食、入浴支援等、被災者からの生活支援ニーズ(物資補給、入浴支援等) → 特に益城町、南阿蘇村、西原村、阿蘇市等 ○ エコノミークラス症候群対策 → 益城町に対し6人用天幕×20張の貸与(展張支援:5月5日) ※ 5月9日現在、20張利用 				
<p>運用構想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月9日14時43分、統合任務部隊解除に伴い、西部方面隊等地域の部隊を中心に生活支援活動を継続 ○ 4月23日から、民間船舶「はくおう」を被災者の休養施設として利用開始 ○ 被害が甚大な地区(南阿蘇村、益城町等)を中心に、組織的に災害派遣活動(生活支援等)を実施 ○ 避難所生活の長期化を見据え、被災者のニーズに柔軟に対応し、各種支援を実施 → 支援ニーズの減少を踏まえつつ、きめ細やかな支援が実施できるよう、支援箇所の見直し・統合を実施中 ○ 降雨、余震による二次災害(土砂崩れ等)に警戒が必要 				
<p>人命救助実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人命救助・行方不明者捜索【累計:16名】(5月1日、県は行方不明者捜索の一旦終了を決定) ○ 病院等の患者の輸送【累計:512名】 ○ 被災者の安全確保のための人員輸送【累計:727名】 ○ DMAT輸送【累計:94名】 <div style="text-align: right; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 修正・追加事項は赤字表記 強調事項は青字表記</p> </div>				

生活支援実績	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物資輸送(2→4か所)【累計:毛布 42,348枚、日用品 53,058箱、食料品 1,755,252食、飲料水 1,003,008本】 5月9日分、毛布 0枚、日用品 71箱、食料品 0食、飲料水 0本(南阿蘇村) ※ 熊本市における物資輸送は、5月5日をもって終了し民間に移管 ○ 給食支援(14→9か所)【累計:906,908食】 5月9日分、3,010食(熊本市、南阿蘇村、西原村) ○ 給水支援(11→9か所)【累計:10,877.7t】 5月9日分、3.3t(阿蘇市、益城町、南阿蘇村) ○ 入浴支援(15→13か所)【累計:115,424名】 5月9日分、3,586名(熊本市、阿蘇市、益城町、嘉島町、菊陽町、御船町、南阿蘇村、西原村) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>凡例:○ △△支援等 (前々日実施箇所合計→前日実施箇所合計) 【累計:□□】</p> </div>
	終了	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 民間船舶「はくおう」の被災者の休養施設としての利用【累計:1,515名(うち63名インターネット申込)】 第1回～第7回実施(八代市、益城町、嘉島町、西原村、南阿蘇村、御船町 等) 第8回 5月 8～9日:宇城市、宇土市(142名(うち5名インターネット申込)) 第9回 5月10～11日:嘉島町、益城町、西原村(予定) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天幕支援【累計:32張】(実績:阿蘇市、益城町、南阿蘇村、由布市) ○ 米軍輸送機による輸送支援(4月18日～23日):UC-35×1機、C-130×延べ4機、MV-22オスプレイ×延べ12機により自衛隊員22名、車両8両、生活支援物資計約36tを輸送 ○ 道路の啓開(瓦礫除去)(4月18日～27日)【累計:約15.9km】 ○ 即応予備自衛官(約160名)による生活支援活動等(4月23日～5月2日) ・給水支援【累計:約40t】 ・給食支援【累計:約5,700食】 ・入浴支援【累計:約1,700名】 ・衛生支援【累計:約300名】 ・物資輸送【累計:食料品約116,000食等】 上記のほか、避難所等における被災者のニーズの確認、車両の整備に係る支援業務等を実施 ○ 感染症対策チームによる環境評価支援等(4月24日～29日):看護師及び臨床検査技師による避難所での環境評価支援及び感染管理物資(手指消毒剤、手袋等)の配給を実施 ○ 瓦礫等(熊本市)の搬出(4月27日～5月3日)【累計:30個地域、トラック164台分】 ○ エコノミークラス症候群対策:天幕×20張の展張支援(5月5日)(益城町) ○ 医療支援(4月16日～5月8日)【累計:2,323名】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 修正・追加事項は赤字表記 強調事項は青字表記</p> </div>

自衛隊の活動状況(9日)



入浴支援の状況(1)
(西原村立河原小学校)



入浴支援の状況(2)
(西原村立河原小学校)



演奏会の状況(1)
(西原村立河原小学校)



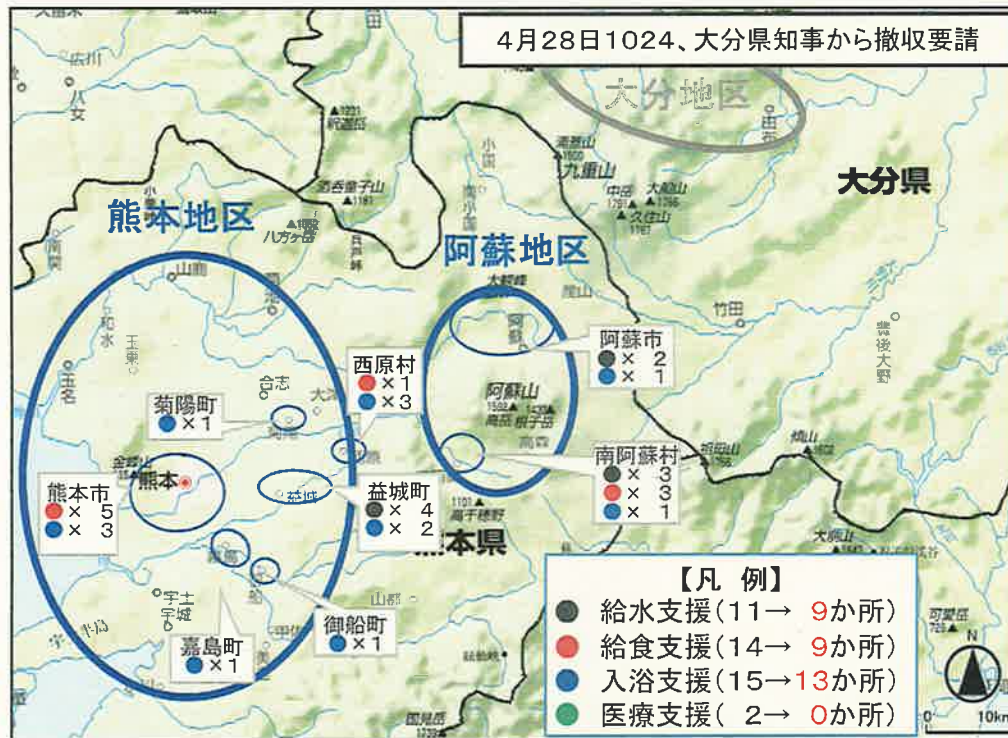
演奏会の状況(2)
(西原村立河原小学校)

平成28年熊本地震における自衛隊の活動予定(5月10日(火))

28. 5. 10 0000
防 衛 省

運用構想	西部方面隊は、熊本県知事からの要請に基づき、災害派遣活動(生活支援等)を実施。この際、関係省庁、各自治体等と密接に連携し、被災者のニーズに的確かつ柔軟に対応する。
------	---

活動概要	人命救助	行方不明者の大規模捜索を実施したが、発見に至らず。二次災害の危険性が極めて大きいため、5月1日、県は行方不明者捜索の一旦終了を決定
	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難生活の長期化を見据え、変化する自治体のニーズに基づき、各種支援(物資輸送、給食・給水・入浴支援)を実施 ○ 「はくおう」を、宿泊、食事及び入浴のサービスを提供する休養施設として利用 (5月10日～11日: 嘉島町、益城町及び西原村(予定)) ○ エコノミークラス症候群対策として、テクノリサーチパーク(益城町)において、自衛隊の6人用天幕×20張の貸与を実施(益城町が、天幕の運営・管理を実施(運営期間: 5月7日(土)～5月31日(火)※5月9日現在、20張利用))



地域等	部隊
阿蘇地区	第5旅団(北海道帯広市)
熊本地区	第3師団(兵庫県伊丹市)
	第4師団(福岡県福岡市)
	第6師団(山形県東根市)
	第8師団(熊本県熊本市) 等